

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

下記内容を協会ホームページ及び資格取得説明会等、健康管理士一般指導員普及活動において使用することを同意します。

健康管理士番号	H - 41496
お名前	越智 直志
性別	男性
年齢	74歳



①なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

69歳で現役生活に終止符を打ち、一度立ち止まって残りの人生を如何に生きるか考えた時に、これまでの経験を生かして地域社会に恩返しすることに思いが至りました。地域社会は年金受給世代と現役世代に大きく分類され、人口減少社会の環境下、高齢者も若年者も健康の維持増進が、社会への貢献と個人の幸福につながると考えた次第です。

②健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

高齢になってからの受講は理解はできるものの、記憶力が落ちるため、認定試験に合格できるか、不安の方が大きく、自信は全くなかったのですが、資格取得することができて、生きることに大きな目標が出来て本当に良かったと思っています。

③健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

地区健康づくり推進委員のリーダーとして行政と連携して取り組んでいる他、健康経営アドバイザーの資格と併せ持ち、地域立地企業の健康づくり支援に取り組んでいます。私の居住地である愛媛県は健康度ランキングが低く、地域社会の健康づくりへの意識を変えることが重要と促えて取り組んでいます。

④その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

「ほすぴ」「セミナー」「能力開発講座」はモチベーションを高める為に有用であり、また新しい知識を得る為にも活用したいと思います。希望的には愛媛県、或いは近場で1年に一度でも良いのでセミナー開催があれば有り難いです。